

一般財団法人 森記念財団

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1. 一般事項

1) 理事会の開催

① 令和5年度（2023年度）第1回通常理事会

日時 令和5年（2023年）5月23日（火） 午後2時00分から2時52分まで

場所 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー51階 六本木ヒルズクラブホライズンルーム

議題

決議事項

議案1号 令和4年度（2022年度）事業報告書議決の件

議案2号 令和4年度（2022年度）決算報告書議決の件

議案3号 令和5年度（2023年度）定時評議員会開催日程議決の件

議案4号 令和5年度（2023年度）定時評議員会議案議決の件

報告事項

報告第1号 理事長等の職務執行状況報告の件

議事の結果等

決議事項については、議案1号および2号は互いに密接な関係があるため一括審議とした。内容説明と監事による監査報告の後、議案1号および2号は原案通り議決された。議案3号は、令和5年6月15日午前10時から六本木ヒルズ森タワー49階 アカデミーヒルズカンファレンスルーム7で開催することが議決された。議案4号は、議案ごとに審議され、令和4年度事業報告書報告の件、令和5年度事業計画・同収支予算報告の件、令和4年度決算承認の件、評議員選任の件、役員選任の件の5件を議案とすることが議決された。評議員及び役員の候補者も原案通り議決された。

報告事項は、理事長、里見専務理事、市川業務担当理事の順に執行状況について報告が行われ、了承された。

② 令和5年度（2023年度）第1回臨時理事会

日時 令和5年（2023年）6月15日（木） 午前10時48分から10時50分まで

場所 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階 アカデミーヒルズカンファレンスルーム7

議題

決議事項

議案1号 理事長（代表理事）選定の件

議案2号 業務担当理事選定の件

議事の結果等

議案1号は直前に開催した令和5年度定時評議員会の終結により小林理事長の任期が満了したため、審議の結果、その後の代表理事である理事長に小林理事が選定された。議案2号は、直前に開催した令和5年度定時評議員会の終結により市川業務担当理事の任期が満了したため、審議の結果、その後の業務担当理事に市川理事が選定された。

③ 令和5年度（2023年度）第2回通常理事会

日時 令和6年（2024年）3月21日（木） 午後2時02分から3時11分まで

場所 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー51階 六本木ヒルズクラブプロテウス

議題

決議事項

議案1号 令和6年度(2024年度)事業計画および収支予算承認の件

議案2号 取引承認の件

報告事項

報告第1号 理事長等の職務執行状況報告の件

議事の結果等

議案1号は、内容説明の後、原案通り承認された。議案2号は令和6年度(2024年度)受託調査事業のうち森ビル株式会社からの3事業について理事会承認を受ける旨の内容説明後、原案通り承認された。

報告事項は、理事長、里見専務理事、市川業務担当理事の順に執行状況について報告が行われ、了承された。

2) 評議員会の開催

① 令和5年度(2023年度)定時評議員会

日時 令和5年(2023年)6月15日(木) 午前10時00分から10時45分まで

場所 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階 アカデミーヒルズカンファレンスルーム7

議題

報告事項

報告第1号 令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)事業報告書報告の件

報告第2号 令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)事業計画・同収支予算報告の件

決議事項

議案1号 令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)決算承認の件

議案2号 評議員選任の件

議案3号 役員選任の件

議事の結果等

議案審議に先立ち、安西評議員が互選により議長に選任された。報告第1号は、令和4年度分の報告が行われ、全員異議なく終了した。報告第2号は説明の後に、全員異議なく終了した。決議事項の議案1号は内容説明の後、監査報告が行われ原案通り承認された。議案2号は任期満了の評議員2名についての選任となり、候補者ごとに選任の可否が審議され、後藤評議員及び森評議員が再任された。議案3号は任期満了の役員7名についての選任となり、候補者ごとに選任の可否が審議され、小林理事、市川理事、岸井理事、竹中理事、辻理事、村木理事及び松河監事が役員に選任された。

2. 事業関係

令和5年度(2023年度)においては、下記の事業を行った。

【都市整備研究所】

2-1. 都市づくり・まちづくりに関する調査研究事業

2-1-1. 持続可能性を内包する都市づくりに関する研究

(1) 持続可能性を内包する都市づくり制度の研究(都市づくり制度研究委員会)

住宅地におけるエリアマネジメントの調査や分析、大都市都心部エリアの再整備に向けた都心部の市街地の研究、及びグリーンへの価値、クリエイティビティに関わる調査を通じて、持続可能性を内包する都市づくりのあり方を検討した。

(1)ー① エリアマネジメントの研究 (エリアマネジメント制度小委員会)

住宅地におけるエリアマネジメントの実践例 (横浜市、川崎市、北九州市) を調査・分析し、エリアマネジメント活動の住宅地固有の特徴と課題を考察しつつ、助言・支援を行った。エリアマネジメント活動の財源確保に資する研究として、京都大学経営管理大学院官民協働まちづくり実践講座と連携し、静岡市での「エリアマネジメントと地域の幸福度、社会関係資本に関するアンケート調査」の結果を用いたエリアマネジメントに対する住民の評価と支払意思額との関係の分析を深めた。また、アフターコロナの公共空間活用のあり方を検討するための基礎調査として、ニューヨーク市における道路空間活用等の現地視察を行った。

(1)ー② 持続可能性を内包する都市開発制度の研究 (都市開発制度小委員会)

六本木・虎ノ門地区 (以下、大街区という) の再整備に向けて必要と考えられる要素、1)開発を牽引するコンセプトの重要性、2)開発を議論していく場の作り方、3)世界の大都市中心部における上記 1)2)に関連する事例紹介をするとともに、4) 大街区の歩行者交通量の調査を参考に、ウォークアブルネットワークの現状分析やサントリーホール等の文化施設の効果に関し議論を行った。

(1)ー③ コミュニティ・グリーンとコミュニティ・クリエイティブによる持続可能な都市づくりの研究 (コミュニティ・グリーンとコミュニティ・クリエイティブ小委員会)

日本の民間開発事例、道路・公園等のインフラの再生事例、英米における都市のオープンスペースのマネジメントの最新動向などの分析から、官民がそれぞれ生み出したグリーン空間のネットワーク化をベースとして、そこに生物や土や風、モビリティ、さらに各開発地区のオープンイノベーションのネットワークなどの各種のネットワークが相乗効果を持つようにするようなコミュニティマネジメントが、今後の都市の持続可能な展開のカギになるのではないかと議論を行った。

(2) 六本木・虎ノ門地区 (大街区) の価値向上に向けた基礎調査

今年度に複数の大規模複合施設が完成した大街区において、GPS データ等を活用して、歩行者の交通量や移動と滞留の状況の調査分析を行い、歩行者回遊軸やウォークアブルな空間等の現在の使われ方など、今後の大街区の価値向上に向けた議論に資する基礎データを提供した。

(3) 全国エリアマネジメントネットワーク支援

幹事会、シンポジウム、昨年度より立ち上がった3つの研究会 (「グリーン」、「スマートシティ・DX」、「ナイトタイムエコノミー」) の発表及び意見交換の場 (分科会) 等において、ワーキングチーム (人材育成、海外連携、研究交流会、組織体制) の内容や、エリアマネジメントの意義や新たなテーマを検討した全国エリアマネジメントネットワークの事務局業務及び研究協力の支援を行った。

2-1-2. 都心型エリア MICE 研究

「東京都心部エリア MICE ネットワーク」の事務局運営を通じて実践研究を行った。

ネットワークメンバーの相互連携の強化のため、DMO 東京丸の内主催の MICE (日本医学会総会 2023) の実地見学、DMO 芝東京ベイのエリアの視察、DMO 六本木地区のコンシェルジュによる講演、エリア MICE 事例報告等を実施するとともに、各地区の取組みの評価を試みた。

また、Suica を発行運営する JR 東日本にヒアリングを行い、MICE イベントでの人流の可視化の可能性や、交通事業者との連携可能性を検討した。

2-1-3. 「都市と文化・クリエイティブ産業」編集委員会 (東京サーベイ)

都市の中でいかにして文化を育てるかを探るために、クリエイティブコミュニティとアートのエコシステムの形成が見られる事例として、兵庫県豊岡市と山梨県富士吉田市にてインタビュー調査と現地調査を実施。文化やクリエイティブ産業を生み出す「場」づくりや、周辺の都市空間の有り方、キーとなる施設の使われ方などについて考察した。また文化を中心とした再開発の先進事例として、香港の西九龍文化地区を現地調査した。

2-1-4. 文化・クリエイティブ産業育成の推進を目的とする実験的プログラムの実施

東京で技術革新や新産業創造に取り組む人々が活動する場が、どのようなものかを考え、プラットフォームなどの支援システムの構築を目指し、プロジェクト実施を支援。例として、東京大学が実施する DLX Design Lab と、森ビルが協働する「デザイン・アカデミー」の活動として、ワークショップ、ショートプログラム、若手研究者らによるインスパイアトークの実施を支援した。

2-1-5. 2045年の東京区部の住宅市街地の将来像の研究

東京区部の住環境の現状分析を行い、①住宅そのものが目指すべき姿（居住水準）、②住宅地としての目指すべき姿、③住宅地を支える要素（文化・みどり・暮らしの環境・働く環境）などを洗い出した。これらを基にどのように「良い住環境」を更新・保全・活用するかについての制度、仕組みの提案を行った。

2-1-6. その他本財団の目的達成に必要な研究

まちづくりと子育て(連携)に関する調査研究の準備的な調査や議論を行った。

2-2. 都市づくり・まちづくりに関する普及啓発事業

2-2-1. 第11回都市ビジョン講演会講演録の作成

書籍「文化の力、都市の未来」(鹿島出版会、令和5年(2023年)2月発行)の出版を記念して、令和5年(2023年)1月23日に開催した第11回都市ビジョン講演会の講演録を作成した。

2-2-2 国内の関係研究機関等との研究連携

京都大学経営管理大学院官民協働まちづくり実践講座との連携によりエリアマネジメントのアンケート調査の結果を分析し、共同の論文を作成・公表した。

また、令和6年(2024年)3月7日(木)に研究連携協定先の土地総合研究所、民間都市開発推進機構、地域開発研究所との共催シンポジウムを、エリアマネジメント負担金制度や新たなエリアマネジメント組織の形の可能性を主たるテーマにオンラインにて開催した【登壇者：大貫裕之氏(中央大学法科大学院教授)、吉岡郁美氏(早稲田大学社会科学部講師)、西山志保氏(立教大学社会学部教授)、小林重敬理事長ほか、視聴者数：233名】。

2-2-3. 自主研究報告書の作成

自主研究報告書を以下の通り作成し、委員会限りの内部資料とした。なお、報告書は電子データ化を基本としている。

- ① 報告書「都市づくり制度研究委員会 2023年度とりまとめ」令和6年(2024年)3月
- ② 報告書「エリアマネジメント制度小委員会 2023年度とりまとめ」令和6年(2024年)3月
- ③ 報告書「都市開発制度小委員会 2023年度とりまとめ」令和6年(2024年)3月
- ④ 報告書「コミュニティ・グリーンとコミュニティ・クリエイティブ小委員会 2023年度とりまとめ」令和6年(2024年)3月

2-3. 都市づくり・まちづくりに関する受託調査事業

本事業年度は、以下の受託調査研究事業を実施した。

① 「2040年+の東京都心の市街地像研究関連業務-その14」

委託者：株式会社都市計画設計研究所

内容：同研究会の検討資料作成や報告書作成に関する支援業務実施。

工期：令和4年(2022年)10月1日～令和5年(2023年)9月30日

受託金額：1,540,000円(税込)

② 「2040年+の東京都心の市街地像研究関連業務-その15」

委託者：株式会社都市計画設計研究所

内容：同研究会の検討資料作成や報告書作成に関する支援業務実施。

工期：令和5年（2023年）10月1日～令和6年（2024年）9月30日

受託金額：1,540,000円（税込）

③ 「都市開発制度の研究業務」

委託者：森ビル株式会社

内容：六本木・虎ノ門地区（以下、大街区という）の再整備に向けて必要と考えられる要素、1)開発を牽引するコンセプトの重要性、2)開発を議論していく場の作り方、3)世界の大都市中心部における上記1)2)に関連する事例紹介をするとともに、4)大街区の歩行者交通量の調査を参考に、ウォークアブルネットワークの現状分析やサントリーホール等の文化施設の効果に関し議論を行った。

工期：令和5年（2023年）6月1日～令和6年（2024年）3月31日

受託金額：26,400,000円（税込）

【都市戦略研究所】

2-1. 都市づくり・まちづくりに関する調査研究事業

2-1-1. 世界の都市総合力ランキング（GPCI）に関する研究

コミッティの指導の下、ワーキング・グループ（作業部会）を開催し、世界の主要48都市を対象に、総合力評価にもとづく順位付けを行った。作成過程および結果について、第三者評価委員のレビューを受けた上で、令和5年（2023年）11月にオンラインとリアルハイブリッドで記者説明会を開催した。世界の都市総合力ランキング（GPCI）の6分野に、「金融」分野を加えた合計7分野で、国際金融センターとしての競争力を評価・順位付けした「世界の都市総合力ランキング-金融センター（GPCI-Financial Centers）」も同日に発表した。また、詳細を掲載したYEARBOOKを令和6年（2024年）1月に刊行した。

2-1-2. 日本の都市特性評価（JPC）に関する研究

日本の都市研究の専門家によって構成される有識者委員から助言を頂きながら、国内主要159都市の都市特性を評価・分析した。結果については、令和5年（2023年）7月にオンラインとリアルハイブリッドで記者説明会を開催した。アンケート調査を通じて居住者や非居住者が抱いている「都市のイメージ」を分析・可視化した「City Perception Survey（都市のイメージ調査）」も同日に発表を行った。詳細を掲載したDATABOOKを令和5年（2023年）9月に刊行した。また、JPC対象都市である札幌市、仙台市、神戸市において連続シンポジウムを企画し、各都市における専門家とともに日本の都市の魅力や課題、発展の可能性について議論を行った。

2-1-3. 世界の都心総合力インデックス（GPICI）に関する研究

世界の主要都市の「都心」が持つ力を多面的に分析・評価し、世界各都市の都心の機能集積の現状や特徴を明らかにすることを目的とした調査研究「世界の都心総合力インデックス（GPICI）」に関して、現行のインタラクティブ・ウェブツール「GPICI Explorer」を、2-1-4.記載の「世界の都市圏総合力インデックス（GPMI）」との統合するための作業を行った。

2-1-4. 世界の都市圏総合力インデックス（GPMI）に関する研究

世界の主要な大都市圏（10都市圏）について、その機能や構造を分析することで、競争力を生み出す要因の比較検討を行うために、15指標についてデータ収集および分析を行った。また、その結果に基づき、全ての都市圏が有している共通点と、都市圏ごとに固有の特性などを抽出するための作業を行った。

2-1-5. 仮想現実（VR）技術を活用した仮想都市空間の創造に関する研究

東京都心部において進行中の大規模開発プロジェクトの情報を収集し、3Dモデル化した上で東京都心部の現況3Dモデルと統合した後、VR（Virtual Reality）ストーリーミングプラットフォーム（インターネットを介したデータ配信方式）を構築した。また、そのVRプラットフォームにインフラ情報等を重ね合わせることで、ユーザーが多面的に都市を俯瞰するための基盤を整備した。

2-1-6. 東京の都市力向上のための都市戦略に関する研究

モバイル端末の位置情報データ分析を通じて、新型コロナウイルスが東京23区の人流動態に与えた影響およびその回復度合いを経年調査し可視化した。また、世界主要都市間のフライトデータ分析を通じて、新型コロナウイルスがGPCI都市間のフライトネットワークに与えた影響およびその回復度合いについて調査した。

2-2. 都市づくり・まちづくりに関する普及啓発事業

2-2-1. 都市戦略研究成果に関する成果報告セミナー等の実施

「世界の都市総合力ランキング（GPCI）2023」記者説明会の開催

「世界の都市総合力ランキング（GPCI）」を広範に普及するため、以下の通り記者説明会（ハイブリッド型）を開催した。

- 開催日：令和5年（2023年）11月9日（木）
- 開催場所：六本木ヒルズ + オンライン
- 参加者：43件（新聞22件、テレビ10件、Web3件、国際メディア8件）の露出があった。

「日本の都市特性評価（JPC）2023」記者説明会の開催

「日本の都市特性評価（JPC）」を広範に普及するため、以下の通り記者説明会（ハイブリッド型）を開催した。

- 開催日：令和5年（2023年）7月13日（木）
- 開催場所：六本木ヒルズ + オンライン
- 参加者：33件（新聞14件、テレビ2件）の露出があった。

2-2-2. 海外講演会等における発表

都市戦略研究所の研究成果を海外講演会等において発表した。

- ①シンガポール政府機関（CLC）主催のシンポジウム「Discontinuities for the City」にオンライン登壇（令和5年（2023年）9月26日開催）
- ②浦東新区商務委員会主催のシンポジウム「国際的なビジネス環境の構築、浦東のハイレベル対外開放の推進」にオンライン登壇（令和5年（2023年）11月6日開催）

2-2-3. 自主研究報告書の刊行

自主研究報告書を以下の通り刊行し、関係機関、研究関係者等に無償配布し、その他希望者には有償頒布した。

- ①「世界の都市総合力ランキング GPCI YEARBOOK 2023」令和6年（2024年）1月 日英併記版
- ②「日本の都市特性評価（JPC）DATABOOK2023」令和5年（2023年）9月 日本語版

2-2-4. 自主研究報告書概要版のホームページ掲載

以下の自主調査研究事業の成果の概要を作成し、森記念財団ホームページ上で公開した。

- ①世界の都市総合力ランキング Global Power City Index 2023（日本語・英語）
- ②世界の都市総合力ランキング -金融センター（GPCI 2023-Financial Centers）（日本語・英語）
- ③日本の都市特性評価 Japan Power Cities 2023（日本語・英語）

2-3. 都市づくり・まちづくりに関する受託調査事業

本事業年度は、以下の受託調査研究事業を実施した。

① 「東京都心エリアにおける機能集積に関する Web マップ更新業務」

委託者 : 森ビル株式会社

内容 : 東京都心エリアにおける各種都市機能の集積について、位置データ及び付随する情報の収集・更新を行うとともに、当該指標データを利用するための Web マップを更新した。

期間 : 令和5年(2023年)6月1日～令和6年(2024年)3月31日

受託金額 : 4,950,000 円 (税込)

② 「Tokyo City Flyover VR ストリーミングプラットフォーム作成業務」

委託者 : 森ビル株式会社

内容 : 東京都港区内において、今後進められる新規大規模開発プロジェクトおよびその周辺空間(道路、鉄道、公園などの公共空間)を 3D モデル化した上で東京の現況 3D モデルと統合した VR (Virtual Reality) ストリーミングプラットフォームを構築した。

期間 : 令和5年(2023年)6月1日～令和6年(2024年)3月31日

受託金額 : 12,650,000 円 (税込)

③ 「Abu Dhabi の GPCI シミュレーション業務受託」

委託者 : Department of Culture and Tourism Abu Dhabi, United Arab Emirates

内容 : アブダビ文化観光省からの依頼を受け、GPCI の文化・交流分野における Abu Dhabi のスコア・シミュレーションを行った。

期間 : 令和5年(2023年)6月1日～令和6年(2024年)12月31日

受託金額 : 653,290 円 (税込)

④ 「恵比寿ガーデンプレイスの開発および運営による効果検証業務」

委託者 : サッポロ不動産開発 株式会社

内容 : 恵比寿ガーデンプレイスの開発および運営が周辺地域にもたらす効果を検証するために、各種データの収集およびマップを用いた可視化を行った。

期間 : 令和5年(2023年)7月27日～令和5年(2023年)8月31日

受託金額 : 620,400 円 (税込)

なお、事業報告の内容を補足する重要な事項が無いため、事業報告の附属明細書は作成していない。